

2023(令和5)年度
札幌大学編入学・転入学試験(11月)
法学専攻

【小論文テーマ】 *以下から2問選択し解答する問題です。

- (1)社会規範と法の特質
- (2)新旧憲法における天皇制
- (3)権利濫用の法理
- (4)未成年者による契約とその取り消し(事例問題)

【出題意図】

いずれも「3年編入試験」であるという趣旨から、法学、公法学、私法学の基本知識の有無を確認するとともに、論理的思考力と表現力をみさせていただきます。また、六法書が適切に活用されているかも確認させていただきます。

【回答例】 *「解答への指針」です。

(1)社会規範における法規範の特徴を他の規範と比較しながら説明して下さい。たとえば、公権力による制裁や強制の有無、法の外面性と道徳の内面性、慣習法と慣習規範との関係、宗教規範との異同等が論点になります。

(2)新憲法の象徴天皇制と明憲下の神勅天皇制との比較が論点の中核です。日本国憲法の1条から4条と、明治憲法の1条から4条とを対比しながら分析するとよいでしょう。

(3)権利濫用の法理とは、形式的には正当な私権の行使であっても、社会通念上著しく不当な結果が出来る場合、その権利行使をみとめないという法理です。民法1条3項の規定に由来し、個々の事案に応じて裁判所が具体的な事情を考慮し判断します。具体的事例(宇奈月温泉事件等)をあげて、当該法理適用のメリットとデメリットを論ずるとよいでしょう。

(4)未成年者のした契約に関わる事例問題です。未成年者(18歳未満)の契約行為は原則として法定代理人(親など)の同意が必要であること(民法5条1項参照)、同意のない契約は取り消すことができること、他方これには例外があること等を説明して下さい。本設問では、「小遣い」など、用途を定めてその処分が未成年者に許されている場合は取り消

すことができないのではないかが論点となります(同 5 条 3 項参照)。

令和5（2023）年度

編入学・転入学

法学専攻

小論文問題

（制限時間：1時間）

問題 以下の設問のうちから、2問を選択して答えなさい。選択問題を明記してから論述すること。

(1)社会規範（社会のルール）には、法以外にも道徳、慣習など様々なものがある。これらと比較しながら、法（規範）の意義と特徴について説明しなさい。

(2)日本国憲法が定める天皇制について、明治憲法下における天皇制と比較しながら説明しなさい。

(3)権利濫用禁止の法理（民法1条3項参照）について、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

(4)16歳のAは、Bからブランドの腕時計を50万円で買い受ける契約をした。しかし、Aの親Xは、この買い物に反対していた。Bと契約する際、AはBに対して、「この金額の買い物なら親から文句は言われたいよ。」と話していた。Xは、AB間の契約を取り消すことができるのかを論ぜよ。

*六法書を参照してもかまいません。希望する場合は、監督の先生に申し出てください。ただし、六法書は返却するように。

*答案用紙が不足する場合には、答案用紙の裏を使用してください。